P3NK-3842-06Z0

SR-Sシリーズ セキュアスイッチ

Webユーザーズガイド V13



はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 認証機能などによりセキュリティを強化して、安全なネットワークを提供するために、本装置をご利用ください。

> 2009年11月初版 2010年7月第2版 2010年10月第3版 2012年7月第4版

> 2012 年 9月第5版

2013 年 1月第6版

本ドキュメントには「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれています。 従って本ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。 Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。 Copyright FUJITSU LIMITED 2009 - 2013

目次

	はじと	かに	2
	本書(D構成と使いかた	4
	. —	本書の読者と前提知識	4
		本書の構成	4
		本書における商標の表記について	5
		本装置のマニュアルの構成	6
第1	章	設定	7
	-		
	1.1	WWW ブラウザを準備する	8
	1.2	本装置のトップページを表示させる	9
	1.3	本装置にログインする	11
	1.4	パスワード情報を設定する	13
		1.4.1 ログインパスワード情報を設定する	13
		1.4.2 暗号化パスワード形式を設定する	14
		1.4.3 ログインユーザ情報を設定する	15
	1.5	時刻を設定する	18
	1.6	設定を追加する	20
	1.7	文字入力フィールドで入力できる文字一覧	21
第2	章	運用管理とメンテナンス	22
	2.1	操作メニューを使う	23
		2.1.1 操作メニューを表示する	23
		 2.1.2 手動でホートを有効化/無効化する 3.1.2 たのははた 	
		2.1.3 イツトワークの接続を確認9る	
		2.1.4 VKKP ナ動切り戻し機能を使う 2.1.5 DADUUS サーバを手動交復回する	
		2.1.5 NADIUS リーバを丁動 C 後旧 y る	
		2.1.0 IEEE002.17 認証(2.1.5 IEE) 初期159 の	20
		21.8 ABP 認証を初期化する	20
		2.1.9 MAC アドレスの収集を行う	
		2.1.10 無線 LAN アクセスポイントに MAC アドレスフィルタを配布する	
		2.1.11 無線 LAN アクセスポイントの無線 LAN チャネルを調整する	33
		2.1.12 無線 LAN アクセスポイントの電波出力を調整する	
		2.1.13 無線 LAN アクセスポイントの装置リセットを行う	35
	2.2	表示メニューを使う	36
		2.2.1 表示メニューを表示する	
	2.3	保守メニューを使う	40
		2.3.1 保守メニューを表示する	40
		2.3.2 構成定義情報を退避/復元する	41
		2.3.3 構成定義情報を切り替える	
		2.3.4 コンバクトフラッシュを使う	
_		2.3.5 USB メモリを使つ	46
索引			50

本書の構成と使いかた

本書では、本装置の基本的な設定方法とメンテナンス情報などについて説明しています。 また、CD-ROMの中のREADMEファイルには大切な情報が記載されていますので、併せてお読みください。 機器の設置および設定用パソコンの接続方法などは、対象装置の「ご利用にあたって」で説明しています。

本書の読者と前提知識

本書は、ネットワーク管理を行っている方を対象に記述しています。 本書を利用するにあたって、ネットワークおよびインターネットに関する基本的な知識が必要です。 ネットワーク設定を初めて行う方でも「機能説明書」に分かりやすく記載していますので、安心してお読みいた だけます。

本書の構成

以下に、本書の構成と各章の内容を示します。

章タイトル		内容	
第1章	設定	この章では、本装置の基本的な設定方法を説明します。	
第2章	運用管理とメンテナンス	この章では、本装置の運用状況を管理または確認する方法、およびメンテナンスする 方法を説明します。	

マークについて

本書で使用しているマーク類は、以下のような内容を表しています。

☆ ヒント 本装置をお使いになる際に、役に立つ知識をコラム形式で説明しています。

こんな事に気をつけて 本装置をご使用になる際に、注意していただきたいことを説明しています。

捕足 操作手順で説明しているもののほかに、補足情報を説明しています。



適用機種 本装置の機能を使用する際に、対象となる機種名を示します。

A 警告 製造物責任法 (PL) 関連の警告事項を表しています。本装置をお使いの際は必ず守ってく ださい。

▲注意 製造物責任法(PL)関連の注意事項を表しています。本装置をお使いの際は必ず守ってく ださい。

本書における商標の表記について

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT、Windows Server およびWindows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における 商標または登録商標です。

Netscapeは、米国 Netscape Communications Corporationの商標です。

UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

製品名の略称について

本書で使用している製品名は、以下のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
Microsoft [®] Windows [®] XP Professional operating system	Windows XP
Microsoft [®] Windows [®] XP Home Edition operating system	
Microsoft [®] Windows [®] 2000 Server Network operating system	Windows 2000
Microsoft [®] Windows [®] 2000 Professional operating system	
Microsoft [®] Windows NT [®] Server network operating system Version 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft [®] Windows NT [®] Workstation operating system Version 4.0	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Standard Edition	Windows Server 2003
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Enterprise Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2, Enterprise Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Datacenter Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2, Datacenter Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Web Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Standard x64 Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Enterprise x64 Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2, Enterprise x64 Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Enterprise Edition for Itanium-based systems	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003, Datacenter x64 Edition	
Microsoft [®] Windows Server [®] 2003 R2, Datacenter x64 Edition	
Microsoft [®] Windows Vista [®] Ultimate operating system	Windows Vista
Microsoft [®] Windows Vista [®] Business operating system	
Microsoft [®] Windows Vista [®] Home Premium operating system	
Microsoft [®] Windows Vista [®] Home Basic operating system	
Microsoft [®] Windows Vista [®] Enterprise operating system	
Microsoft [®] Windows [®] 7 64bit Home Premium	Windows 7
Microsoft [®] Windows [®] 7 32bit Professional	

本装置のマニュアルの構成

本装置の取扱説明書は、以下のとおり構成されています。使用する目的に応じて、お使いください。

マニュアル名称	内容
ご利用にあたって	本装置の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
機能説明書	本装置の便利な機能について説明しています。
トラブルシューティング	トラブルが起きたときの原因と対処方法を説明しています。
メッセージ集	システムログ情報などのメッセージの詳細な情報を説明しています。
仕様一覧	本装置のハード/ソフトウェア仕様とMIB/Trap一覧を説明しています。
コマンドユーザーズガイド	コマンドを使用して、時刻などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明し ています。
コマンド設定事例集	コマンドを使用した、基本的な接続形態または機能の活用方法を説明しています。
コマンドリファレンス - 構成定義編 -	構成定義コマンドの項目やパラメタの詳細な情報を説明しています。
コマンドリファレンス - 運用管理編 -	運用管理コマンド、その他のコマンドの項目やパラメタの詳細な情報を説明してい ます。
Web ユーザーズガイド(本書)	Web 画面を使用して、時刻などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明し ています。
Web 設定事例集	Web画面を使用した、基本的な接続形態または機能の活用方法を説明しています。
Web リファレンス	Web画面の項目の詳細な情報を説明しています。



この章では、本装置の基本的な設定方法を説明します。

1.1	WWW ブラウザを準備する	8
1.2	本装置のトップページを表示させる	9
1.3	本装置にログインする1	1
1.4	パスワード情報を設定する	3
	1.4.1 ログインパスワード情報を設定する1	3
	1.4.2 暗号化パスワード形式を設定する1	4
	1.4.3 ログインユーザ情報を設定する1	5
1.5	時刻を設定する1	8
1.6	設定を追加する2	20
1.7	文字入力フィールドで入力できる文字一覧	!1

1.1 WWW ブラウザを準備する

本装置を利用するには、以下のWWW ブラウザを使用してください。

- Microsoft[®] Internet Explorer Version 7.0
- Microsoft[®] Internet Explorer Version 8.0

ブラウザの設定が、「Proxy(プロキシ)サーバ機能」を利用しないようになっていることを確認してください。 以下のように確認します。

- 1. Microsoft[®] Internet Explorer を起動します。
- 2. ツールバーまたはメニューバーの [ツール] をクリックし、「インターネットオプション」をクリッ クします。
- 3. インターネットオプション画面の「接続」タブで、[LANの設定] ボタンをクリックします。
- 4. プロキシサーバーの「LAN にプロキシサーバーを使用する」が選択されていないことを確認します。



Proxy サーバを使用する場合は、以下を参考にして本装置だけを Proxy の対象外にしてください。 補足

- 1. Microsoft[®] Internet Explorerを起動します。
- 2. ツールバーまたはメニューバーの [ツール] をクリックし、「インターネットオプション」をクリックします。
- 3. インターネットオプション画面の「接続」タブで、[LANの設定] ボタンをクリックします。
- 4. プロキシサーバーの「LAN にプロキシサーバーを使用する」が選択されていることを確認し、[詳細設定] ボタン をクリックします。
- 5. 「HTTP」にプロバイダの Proxy サーバを指定します。
- 6. 例外の「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」に本装置のIPアドレス(192.168.1.1)を指定します。

本装置のトップページを表示させる 1.2

WWW ブラウザを使用して、本装置のトップページを表示します。 ここでは、SR-S724TC1の場合を例に説明します。

● 参照 [1.1 WWW ブラウザを準備する](P.8)

こんな事に気をつけて

- ・ ご購入時の状態では、IPアドレスは設定されていません。コンソールから IPアドレスを設定してください。
- ・ コンソールでログインしている場合は、WWW ブラウザからのログインはできないため、IP アドレス設定後は忘れず にコンソールからログオフしてください。
- ・ SR-S224CP1では、ご購入時の状態では、etherポートの使用モードはセキュリティ確保のため全ポート未使用設定 となっております。コンソールから、使用する ether ポートの使用モードを設定してください。
- コンソールから本装置のIPアドレス(例:192.168.1.1)を設定します。 1.

config # lan 0 ip address 192.168.1.1/24 3 # lan 0 vlan 1 # commit # exit

- 2. WWW ブラウザを起動します。
- 3. 本装置のURL「http://192.168.1.1/」を指定します。

本装置のトップページが表示されます。

WWW ブラウザのタイトルバーには、初期状態で機種名が表示されます。
 「装置情報」-「装置名称情報」の装置名称を設定することで表示内容を変更できます。

	SR-S724TC1 Setup Configu	rations - Microsoft Internet Explorer
	ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気	
	アドレス(D) (新) http://19216811/	
(1) - (2) - (3) - (4) - (5) -	アドレス① ④ http://192188.1.// Secure Switch SR-S724T010/13.09 confiel) - 設定 操作 泰示 係守	 ▼ 1840 ワン * SR-S724TC1へようこそ Cのページから、SR-S724TC1に関する各種操作を行うことができます。 《左フレームの上部にあるロゴ、タグをクリックしてください。それぞれの処理へ進みます》 ドップ このページです。 酸定 設定メニュー データ通信を行うための動作環境の設定ができます。 第1 操作メニュー 時刻設定、手動接続人切断などの操作ができます。 素示メニュー 接続状況やルーティング情報などの運用情報が表示できます。 第1 操作メニュー 時刻設定、す動接続人切断などの操作ができます。 (ア)マークをクリックするとHELP情報が表示されます。 (ア)マークをクリックするとHELP情報が表示されます。 (エノールドでは半角英数字および記号文字のみを使用してください。ただし、空白文字、*、く、、 (エノカレイスいでください、入力した場合、ブラウザでの設定が不可能となる場合があります。
	< >>	

画面左側に表示されるタブについて、以下に説明します。

(1) 本装置ロゴ : クリックすると、トップページが表示されます。

- (2) [設定] タブ : クリックすると、設定メニューが表示されます。設定メニューには「基本設定」、「詳細設 定」があります。
- (3) [操作] タブ :クリックすると、操作メニューが表示されます。
- (4) [表示] タブ : クリックすると、表示メニューが表示されます。
- (5) [保守] タブ : クリックすると、保守メニューが表示されます。

■ 参照 「2.1 操作メニューを使う」(P23)、「2.2 表示メニューを使う」(P36)、「2.3 保守メニューを使う」(P40)

1.3 本装置にログインする

ユーザ名とパスワードを入力することによって、本装置にログインすることができます。 本装置は1ユーザのみログインできます。コンソールポート/telnet接続/ssh接続によりログインしている場合は、WWW ブラウザからのログインはできません。 ご購入時の状態では、管理者のみログインすることができます。

1. トップページの画面左側の [設定] タブをクリックします。 ログイン画面が表示されます。

2. 以下の項目を指定します。

• ユーザ名

バスワード

:admin :指定しない

パスワード
 ユーザ名 admin

_

3. [ログイン] ボタンをクリックします。

本装置のトップページ(ユーザ名:admin)が表示されます。

こんな事に気をつけて

一般ユーザでログインする場合は、一度管理者でログインしたあと、「パスワード情報」で一般ユーザのパスワードを設 定し、再度一般ユーザでログインしてください。

● 参照「1.4 パスワード情報を設定する」(P.13)

ユーザ名とパスワード

ユーザ名とパスワードは、管理者と一般ユーザによって異なります。

- ユーザ名 管理者は「admin」、一般ユーザは「user」です(固定ユーザ名)。 パスワード情報のログインユーザ情報で、AAAユーザ情報またはRADIUSサーバのユーザ情報を利用する設定 とした場合、管理者および一般ユーザとして任意のユーザ名で追加設定することができます。
- パスワード ご購入時は設定されていません。最初にログインしたときに必ずパスワード情報を設定してください。

● 参照「1.4 パスワード情報を設定する」(P.13)

権限クラス(管理者クラスと一般ユーザクラス)

権限クラスには、管理者クラス(admin でログイン)と一般ユーザクラス(user でログイン)があります。 権限クラスによって実行できる画面が異なります。

権限クラスを移行する場合は、画面左側に表示される [ログアウト] ボタンをクリックしてください。本装置 トップページが表示され、それ以降の処理でログイン画面が表示されます。

ログインしている権限クラスは、本装置ロゴの下に表示されるユーザ名で確認することができます。 以下に、管理者クラスと一般ユーザクラスで実行できる画面について示します。

○:実行できる、×:実行できない

接阻クニフ	画面名				
	設定メニュー	操作メニュー	表示メニュー	保守メニュー	
管理者クラス	0	0	0	0	
一般ユーザクラス	×	○(「疎通確認」画面のみ)	○ (※)	×	

※) 「統計情報」画面では、情報をクリアすることができません。クリアする場合は、管理者クラスに移行し てください。

パスワード情報のログインユーザ情報で、AAAユーザ情報または RADIUS サーバのユーザ情報を利用する設定とした場合の任意ユーザ名の権限クラスは、以下のとおり決定します。

RADIUS サーバを使用する場合
 RADIUS サーバに設定された Filter-ID アトリビュート情報により決定します。

RADIUS アトリビュート(番号)	設定
Filter-ID (11)	管理者クラスの場合 : "administrator"
	ー般ユーザクラスの場合 : "user"

本装置内のユーザ情報を使用する場合
 「AAA 情報」-「AAAユーザ情報」-「認証情報」の権限クラスの設定により決定します。

1.4 パスワード情報を設定する

1.4.1 ログインパスワード情報を設定する

パスワードを設定すると、WWWブラウザ画面からの設定/コンソール、telnetからのログイン/FTPサーバ機能使用時に、パスワード入力によってログインを制限することができます。

こんな事に気をつけて

設定したパスワードを忘れた場合、ご購入時の状態に戻すことによって、パスワードを消すことができます。ただし、それまでの設定内容はすべて失われます。

● 参照 トラブルシューティング [3 ご購入時の状態に戻すには」(P.24)

- 一般ユーザでログインする場合は、一般ユーザのパスワードを設定してください。
- パスワードには8文字以上で、英字、数字、記号を混ぜた文字列を設定してください。7文字以下、英字のみ、数字のみのパスワードを設定した場合、および、設定を削除した場合は、脆弱である旨の警告が表示されます。

パスワードを設定する場合の例を示します。

- **1. 設定メニューの基本設定で「パスワード情報」をクリックします**。 「パスワード情報」ページが表示されます。
- 「ログインパスワード情報」をクリックします。
 「ログインパスワード情報」が表示されます。
- 3. 以下の項目を指定します。
 - 管理者パスワード → himitu132
 - 管理者パスワードの確認 → himitu132

■ログインパスワード情報	3
管理者バスワード	•••••
管理者バスワードの確認	•••••
一般ユーザバスワード	
一般ユーザバスワードの確認	

4. [更新] ボタンをクリックします。

「パスワードを更新しました。更新した情報は、即時有効になります。」というメッセージが表示されます。

5. 画面左側の [設定] タブをクリックします。

ログイン画面が表示されます。

- 6. 以下の項目を指定します。
 - ユーザ名
 - パスワード

→ admin → himitu132

ユーザ名	admin	
バスワード	•••••	

「ログイン」ボタンをクリックします。
 本装置のトップページ(ユーザ名:admin)が表示されます。

1.4.2 暗号化パスワード形式を設定する

本装置に設定した各種パスワード情報は、暗号化されて表示および保存されます。これにより、構成定義情報を 見ただけでは平文パスワード文字列が分からず、不正ログインや不正アクセスを抑止する効果があります。 暗号化パスワード文字列はデフォルト設定では共通パスワード形式で、装置故障などにより装置を交換した場合 でも、保存しておいた各種暗号化パスワード文字列をそのまま復元することができます。しかし、暗号化パス ワード文字列を含む構成定義情報をそのまま他装置に復元できるのはセキュリティ的に問題となる場合が考えら れます。暗号化パスワード文字列を装置固有パスワード形式(password format unique 設定)に変更すること で、本装置の構成定義を自装置でのみ使用することができます。装置固有パスワード形式に変更すると、設定済 みの各種パスワード情報は自動的に装置固有パスワード形式で表示および保存されます。

こんな事に気をつけて

 装置固有パスワード形式に設定すると、共通パスワード形式に戻したり設定を削除することはできません。構成定義 情報をご購入時の状態に戻すことによって、暗号化パスワード形式を共通パスワード形式に戻すことができます。

● 参照 トラブルシューティング [3 ご購入時の状態に戻すには](P.24)

 ・ 装置固有パスワード形式に設定すると、本装置が故障するなどして代替装置に交換した場合は、保存しておいた構成 定義をそのまま復元できなくなります。装置に保存した構成定義を代替装置に復元する必要がある場合は、共通パス ワード形式で作成した構成定義ファイルを別の場所に保管しておいてください。

● 参照 トラブルシューティング「1.2 本装置設定時のトラブル」(P.9)

暗号化パスワード形式を装置固有パスワード形式に設定する手順を示します。

- **1. 設定メニューの基本設定で「パスワード情報」をクリックします**。 「パスワード情報」ページが表示されます。
- 2. 「基本情報」をクリックします。

「基本情報」が表示されます。

■基本情報	3
暗号化バスワート形式	■装置固有バスワード形式にする
※装置固有バスワード形式にす 暗号化バスワード形式の修正	る設定を更新するとそれ以降、 はできません。
設定終了後、更新をクリックして	ください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。
更新 キャンセル	

3. 暗号化パスワード形式の装置固有パスワード形式にするにチェックします。

装置固有パスワード形式への変更を確認する画面が表示されます。



4. [OK] ボタンをクリックします。

確認画面が閉じて、暗号化パスワード形式の装置固有パスワード形式にチェックがつきます。



5. [更新] ボタンをクリックします。

「基本情報を更新しました。更新した情報は、即時有効になります。」というメッセージが表示されます。

1.4.3 ログインユーザ情報を設定する

ログインユーザ情報を設定すると、個別のログインユーザ名でログインすることができるようになります。 ログイン履歴はシステムログ情報で参照することができます。

こんな事に気をつけて

- ・ ログインユーザ情報によるユーザ認証を行うには、ログインパスワード情報の管理者パスワードが設定されている必要があります。「1.4.1 ログインパスワード情報を設定する」(P.13)の内容に従って、必ず設定してください。
- ユーザ認証で参照する AAA 情報には、ユーザID とユーザ認証パスワードが設定されているか、ユーザID とユーザ認証パスワードが設定されている RADIUS 認証サーバが指定されている必要があります。ユーザID およびユーザ認証パスワードは、64 文字以内の ASCII 文字で設定してください。
- ・ 本装置の固定ユーザ名である「admin」と「user」はログインユーザ情報によるユーザ認証を行いません。
- RADIUS サーバまたは本装置内のユーザ情報に権限クラスの設定がない場合は、正しい ID とパスワードが入力された 場合でもログインできません。

ログインユーザ情報を設定する場合の例を示します。

● 設定条件

- RADIUSサーバのIPアドレス : 192.168.1.254
- RADIUSサーバのシークレット : radius-secret

ユーザ認証で参照する AAA 情報を設定する

- **1. 設定メニューの基本設定で「パスワード情報」をクリックします**。 「パスワード情報」ページが表示されます。
- 「ログインユーザ情報」をクリックします。
 「ログインユーザ情報」が表示されます。
- 3. 以下の項目を指定します。
 - 参照する AAA 情報 →参照する
 AAA グループ ID → 0

■ログインユーザ情報		3
	○ 参照しない○ 参照する	
参照するAAA情報	AAAグループID 🛛	
	認証プロトコル OPAP	

4. [保存] ボタンをクリックします。

RADIUSサーバのVLAN情報を設定する

5. 設定メニューの詳細設定で「LAN 情報」をクリックします。

「LAN 情報」ページが表示されます。

6. 以下の項目を指定します。

• VLAN ID → 1



- **7. [追加] ボタンをクリックします**。 「LAN1 情報」ページが表示されます。
- **FIP 関連」をクリックします**。
 IP 関連の設定項目と「IP アドレス情報」が表示されます。
- 9. 以下の項目を指定します。
 - IPアドレス → 192.168.1.1
 - ネットマスク → 24 (255.255.255.0)

■IPアドレス情報	3
IPフトレス	192.168.1.1
ネットマスク	24 (255.255.255.0) 🗸

10. [保存] ボタンをクリックします。

RADIUS サーバを利用する AAA グループ情報を設定する

- **11. 設定メニューの詳細設定で「AAA 情報」をクリックします**。 「AAA 情報」ページが表示されます。
- 12. 以下の項目を指定します。
 - グループ名

→ radiusAuth



- **13. [追加] ボタンをクリックします**。 「グループID情報(0)」ページが表示されます。
- 14.
 「RADIUS 関連」をクリックします。

 RADIUS 関連の設定項目と「基本情報」が表示されます。

15. 以下の情報を指定します。

•	RADIUSサービス	→クライアント機能
	認証	→チェックする
	アカウンティング	→チェックしない
•	自側認証 IP アドレス	→ 192.168.1.1

■基本情報	3
RADIUSサービス	クライアント機能 ▼ ■認証 ■ アカウンティング (クライアント機能を選択した場合にのみ有効 となります)
自側認証IPアトレス	192.168.1.1

- 16. 【保存】ボタンをクリックします。
- **17.** RADIUS 関連の設定項目の「サーバ情報」をクリックします。 「サーバ情報(クライアント機能)」が表示されます。
- 18. 「認証情報1」の[修正] ボタンをクリックします。
- 19. 以下の項目を指定します。

 ■ 認証情報1 	
共有鍵	→ radius-secret
サーバIPアドレス	→ 192.168.1.254

	共有鍵	••••••
	サーバIPア ドレス	192.168.1.254
認証作青幸反 1	サーバ UDPポート	⊙ 1812 ◯ 1645
	復旧待機 時間	0 秒 🗸
	優先度	0
	自側認証 IPアドレス	

20. 認証情報1の[保存] ボタンをクリックします。

「サーバ情報(クライアント機能)」に戻ります。

21. 画面左側の [設定反映] ボタンをクリックします。 設定した内容が有効になります。

1.5 時刻を設定する

本装置を運用開始する前に、必ず時刻を設定してください。ご購入時の状態では、時刻は設定されていません。 時刻設定する方法は、以下の3つがあります。

- ブラウザを利用しているパソコンの時刻を取得する方法
- ネットワーク上のTIME サーバまたは SNTP サーバから時刻を取得する方法
- 任意の時刻を設定する方法

こんな事に気をつけて

・ 時刻を設定する場合は、管理者(admin)でログインしてください。

- ・ SR-S308TL1/310TL2/316TL1/318TL2/324TL2/328TR1/348TC1/748TC1では、72時間以上電源を切ったままにして おくと、時刻情報が失われます。
- 1. 本装置のトップページで、画面左側の[操作] タブをクリックします。

操作メニューが表示されます。

SR-S724TC1 Setup Configu	rations - Microsoft Internet Explorer	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気	に入り(4) ツール(1) ヘルプ(4)	At 1
🌀 🕫 • 📀 · 🖹 🛃 🦿	🏠 🔎 稜索 🧙 お気に入り 🤣 🔗 - 🌺 📓 - 🔜 🦓	
アドレス(D) 🍓 http://192.168.1.1/		🔽 🄁 移動 リンク 🎽
Secure Switch SR-5724TC1 (V13.00 configl) ユーザ名: admin 酸症 操作 表示 保守	操作メニュー このページでは、本装置の各種操作が行えます。 《左のメニューからサービスを選択してください。》	
操作メニュー		
 		
🎒 ページが表示されました		划 イントラネット 🛒

2. 操作メニューで「時刻設定」をクリックします。

「時刻情報設定」ページが表示されます。

【時刻情報設定】	
このページでは、本装置の時刻	別合わせを行うことができます。設定方法を選択し設定ボタンを押してください。
■時刻の設定	
パソコンから時刻を取得	バンコンの現在時刻 2007年2月20日10時34分57秒
タイムサーバから時刻を取得	サーバアドレス 設定されていません。
任意の時刻を設定	2007 年 02 月 20 日 01 時 35 分 15 秒 設定

3. 時刻を設定する方法を以下の3つから選択します。

- パソコンから時刻を取得 → WWW ブラウザを利用しているパソコンの時刻を取得する
- タイムサーバから時刻を取得 →ネットワーク上のTIME サーバまたは SNTP サーバから時刻を取得する
- 任意の時刻を設定 →現在の日時を入力する

4. 指定する時刻の設定方法の [設定] ボタンをクリックします。

「時刻を〇〇〇〇に設定しました。」というメッセージが表示されます。

設定を追加する 1.6

Web設定事例集で代表的な接続構成についての設定方法を説明します。 そちらを参考に設定を行ってください。

● 参照 Web 設定事例集



「基本設定」と「詳細設定」で設定した場合は、設定を有効にするため、「設定反映」ボタンをクリックしてください。 ▲ | 基本設定」 C I IFHINIQAC」 C IAC C C C I IFHINIQAC」 C IAC C C C I IFHINIQAC」 C IAC C C C IAC C C IAC C IAC

以下の画面を変更した場合は、本装置が再起動されます。

- •基本設定「装置情報」-「装置名称情報」
- •基本設定「装置情報」-「異常時動作情報」のウォッチドッグリセット機能
- •基本設定「装置情報」-「資源情報」のフィルタ/QoS資源の配分
- ・基本設定「装置情報」-「ハッシュ情報」
- •基本設定「装置情報」-「冷却ファン情報」
- ・詳細設定「IP情報」-「基本情報」のIPフォワーディング機能
- ・詳細設定「IPv6 情報」-「基本情報」の IPv6 フォワーディング機能
- 詳細設定「QoS情報」-「COSキュー情報」
- ・詳細設定「マルチキャスト情報」-「IPマルチキャスト」の宛先不明マルチキャストパケット設定
- ・詳細設定「IGMPスヌープ情報」-「基本情報」の宛先不明マルチキャストパケット設定

こんな事に気をつけて

設定反映した結果、設定内容が正常に反映されているか、「表示メニュー」の「システムログ情報」で確認してください。

1.7 文字入力フィールドで入力できる文字一覧

	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
20		!		#	\$	%(注)	&(注)	٤	()	*	+	,	-		/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<(注)	=	>(注)	?
40	@	А	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	К	L	М	Ν	0
50	Р	Q	R	S	Т	U	V	W	Х	Y	Z	[¥(注)]	^	_
60	`	а	b	С	d	е	f	g	h	i	j	k	I	m	n	0
70	р	q	r	S	t	u	v	w	х	У	z	{	I	}	(注)	

注)ご使用のキーボードによって、「¥」の代わりに「\」、「 ̄」の代わりに「〜」を入力してください。ご使 用のターミナルソフトウェアやWWWブラウザによって、「¥」の代わりに「\」、「 ̄」の代わりに「〜」 が表示される場合があります。

WWW ブラウザでの設定時に、文字入力フィールドに空白文字、「"」、「<」、「>」、「&」、「%」の文字を入力しないでください。これらの文字を入力した場合、WWW ブラウザで設定できなくなります。

コマンドでの設定時には、「<」、「>」、「&」、「%」の文字は入力できますが、WWW ブラウザでの設定がで きなくなります。WWW ブラウザで設定を行う場合は、これらの文字を使用しないようにコマンドで設定を 変更してください。また、WWW ブラウザで設定を行う場合は、空白文字を使用しないようにコマンドで設 定を変更してください。



第2章 運用管理と メンテナンス

この章では、本装置の運用状況を管理または確認する方法、およびメンテナンスする方法を説明します。

2.1	操作メ	ニューを使う	23
	2.1.1	操作メニューを表示する	23
	2.1.2	手動でポートを有効化/無効化する....................................	24
	2.1.3	ネットワークの接続を確認する	25
	2.1.4	VRRP 手動切り戻し機能を使う	26
	2.1.5	RADIUS サーバを手動で復旧する	27
	2.1.6	IEEE802.1X認証を再認証/初期化する	28
	2.1.7	MAC アドレス認証を初期化する	29
	2.1.8	ARP 認証を初期化する	30
	2.1.9	MAC アドレスの収集を行う	31
	2.1.10	無線 LAN アクセスポイントに MAC アドレスフィルタを配布する	32
	2.1.11	無線 LAN アクセスポイントの無線 LAN チャネルを調整する	33
	2.1.12	無線 LAN アクセスポイントの電波出力を調整する	34
	2.1.13	無線 LAN アクセスポイントの装置リセットを行う	35
2.2	表示メ	ニューを使う	36
	2.2.1	表示メニューを表示する	36
2.3	保守メ	ニューを使う	40
	2.3.1	保守メニューを表示する	40
	2.3.2	構成定義情報を退避/復元する	41
	2.3.3	構成定義情報を切り替える	42
	2.3.4	コンパクトフラッシュを使う	43
	2.3.5	USB メモリを使う	46

2.1 操作メニューを使う

操作メニューでは、時刻設定、手動接続/切断、疎通確認、各認証の初期化、MACアドレス収集、無線 LAN 管理操作などができます。

こんな事に気をつけて

一般ユーザ(user)でログインしている場合は、「疎通確認」情報のみが表示され、操作することができます。その他の 操作を使用する場合は、管理者(admin)に移行してください。

● 参照「1.3 本装置にログインする」(P.11)

2.1.1 操作メニューを表示する

適用機種 全機種

本装置のトップページで、画面左側の[操作]タブをクリックすると、操作メニューが表示されます。



VRRP手動切り戻しは、SR-S716C2、724TC1、748TC1で表示されます。

2.1.2 手動でポートを有効化/無効化する

適用機種 全機種

ポートを指定して、手動で閉塞/閉塞解除をすることができます。

1. 操作メニューで「閉塞/閉塞解除」をクリックします。

「閉塞/閉塞解除」ページが表示されます。

【 閉塞/閉塞 このページでは、キ	: 解除】 指定したポートに対して手動による	閉塞/閉塞解除をするこ	とができます。
 ■etherポート→			
ボート番号	状態	操作	
1	非閉塞(リンクアップ)	閉塞	
2	非閉塞(リンクダウン)	閉塞	
3	非閉塞(リンクダウン)	閉塞	
4	非閉塞(リンクダウン)	閉塞	
5	非閉塞(リンクダウン)		
6	非閉塞(リンクダウン)	閉塞	
7	非閉塞(リンクダウン)	閉塞	
8	非閉塞(リンクダウン)	閉塞	
9		閉塞	
10		閉塞	
11	非閉塞(リンクダウン)	閉塞	
12	非閉塞(リンクダウン)	閉塞	
13	非閉塞(リンクダウン)	閉塞	
14	非閉塞(リンクダウン)	閉塞	
15	非閉塞(リンクダウン)	閉塞	
16	非閉塞(リンクダウン)	閉塞	
《複数ボート指定》			
複数のボート番号を 複数の番号が続く場	設定する場合、","(カンマ)で区切 合""(ハイフン)で区切ります(例	ります。(例:"1,5") "1-8")	
※ボートリストを指定 なります	こして、1995年1995年1995年1995年1995年1995年1995年1995	このボートに有効に	
ボートリスト		閉塞 閉塞解除	

2. 以下のどちらかの手順で設定します。

- 1つのポートを操作する場合
 「ether ポートー覧」の操作の[閉塞]ボタンまたは[閉塞解除]ボタンをクリックします。
- 複数のポートを同時に操作する場合
 「ポートリスト」にポート番号を指定して、[閉塞] ボタンまたは [閉塞解除] ボタンをクリックします。

2.1.3 ネットワークの接続を確認する

適用機種 全機種

ping コマンドを使って、IP 接続が成立しているかどうか確認することができます。

1. 操作メニューで「疎通確認」をクリックします。

「疎通確認(ping)」ページが表示されます。

【疎通確認(ping)】

このページでは、pingコマンド(ICMP ECHOバケット)による通信の確認ができます。

送信先

送信先を設定し、ping送信をクリックしてください。設定を元に戻す場合はキャンセルをクリックしてください。 ping送信 キャンセル

2. 「送信先」に送信先のIPアドレスを指定します。

3. [ping送信] ボタンをクリックします。

「ping実行中」というメッセージが表示されたあと、ブラウザ画面にping送信結果が表示されます。

2.1.4 VRRP 手動切り戻し機能を使う

適用機種 SR-S716C2, 724TC1, 748TC1

VRRP グループの動作を、一時的にプリエンプトモードが ON に設定されたものとして動作させます。これにより、 プリエンプトモードが OFF に設定された本装置の VRRP グループが、現在のマスタルータより優先度の高いバッ クアップルータである場合、マスタルータに状態を切り戻すことができます。本装置の VRRP グループのプリエン プトモードが ON に設定されていたり、現在のマスタルータの優先度のほうが高い場合、要求は無視されます。

1. 操作メニューで「VRRP手動切り戻し」をクリックします。

「VRRP手動切り戻し」ページが表示されます。

【VRRP手動切り戻し】
VRRPグループの動作を、一時的にブリエンプトモードがONに設定されたものとして動作させます。これにより、プリエ ンプトモードがOFFに設定された本装置のVRRPグループが現在のマスタルータより優先度の高いバックアップルータであ る場合、マスタルータに状態を切り戻すことができます。本装置のVRRPグループのプリエンプトモードがONであったり、 現在のマスタルータの優先度のほうが高い場合、要求は無視されます。
《情報一覧より切り戻しを行うグループを選択して実行をクリックしてください。》
■VRRPグループ情報一覧
インタフェース グループID プライオリティ 仮想IPアドレス 操作
lan1 1 128 192.168.10.254 実行

2. 切り戻しを行うグループの [実行] ボタンをクリックします。

切り戻しが行われます。

2.1.5 RADIUS サーバを手動で復旧する

適用機種 全機種

```
dead 状態になった RADIUS サーバとの接続状態を手動でalive 状態に復旧させることができます。
なお、RADIUS サーバとの接続状態を復旧させた場合でも、RADIUS サーバとの通信ができない場合は dead 状態
になります。
```

1. 操作メニューで「RADIUS 手動復旧」をクリックします。

「RADIUS手動復旧」ページが表示されます。

«	【RADIUS手動復旧】 dead状態になったRADIUSサーバとの接続状態を手動でalive状態に復旧させることができます。 《情報一覧より復旧を行うサーバの復旧ボタンをクリックしてください。》									
	■サーバ情報一覧									
	AAAグル ープID	種 別	定義 番号	IPアドレス	ポート 番号	優先 度	状 態	復旧残り 時間(秒)	操 作	
	1	認証	0	10.35.156.112	1812	100	alive	_		
		認 証	1	10.35.156.100	1812	0	alive	_		

2. [サーバ情報一覧] で復旧するサーバの欄の[復旧] ボタンをクリックします。

2.1.6 IEEE802.1X 認証を再認証/初期化する

適用機種 全機種

IEEE802.1X認証の認証状態を初期化したり、再認証させたりすることができます。

1. 操作メニューで「IEEE802.1X 認証の再認証/初期化」をクリックします。

「IEEE802.1X認証の再認証/初期化」ページが表示されます。

【IEEE802.1X認証の再認証/初期化】							
このべ [、] ができます	このページでは、指定したポートまたは端末に対して手動によるオーセンティケータ認証の再認証/初期化をすること ができます。						
《忄青幸段−	一覧より	処理を行うポート	を選択	₹して初期化/再認証/ポート初期化	/ポート再認証をクリックしてください。》		
	302.1>	《認証情報一賢	٤				
ポート 番号	ユー ザ	MACアドレス	状態	操作			
15	test	00:0a:e4:98:ef:f4	認証 済	(再認証)(初期化) ポート再認証 ポート初期化			

- 2. 以下のどちらかの手順で設定します。
 - ユーザごとに[初期化]ボタンまたは[再認証]ボタンをクリックします。
 該当するユーザのみ初期状態になるか、再認証動作を行います。
 - ポートごとに [ポート初期化] ボタンまたは [ポート再認証] ボタンをクリックします。
 該当するポートのすべてのユーザが初期状態になるか、再認証動作を行います。

2.1.7 MAC アドレス認証を初期化する

適用機種 全機種

MAC アドレス認証の認証状態を初期化することができます。

1. 操作メニューで「MACアドレス認証の初期化」をクリックします。

「MACアドレス認証の初期化」ページが表示されます。

【MACアドレス認証の初期化】 このページでは、指定したボートまたは端末に対して手動によるMACアドレス認証の初期化をすることができます。 《情報一覧より処理を行うボートを選択して初期化/ボート初期化をクリックしてください。》 MACアドレス認証情報一覧 ボート番号 MACアドレス 状態 操作 14 00.0a:e4:98:eff4 認証済 初期化 ボート初期化

- 2. 以下のどちらかの手順で設定します。
 - MACアドレスごとに[初期化]ボタンをクリックします。
 該当するMACアドレスのみ初期状態になります。
 - ポートごとに [ポート初期化] ボタンをクリックします。
 該当するポートのすべての MAC アドレスが初期状態になります。

2.1.8 ARP認証を初期化する

適用機種 全機種

ARP認証の認証状態を初期化することができます。

1. 操作メニューで「ARP 認証の初期化」をクリックします。

「ARP認証の初期化」ページが表示されます。

(ARP حەم	【ARP認証の初期化】 このページでは、指定したVLANまたは端末に対して手動によるARP認証の初期化をすることができます。						
ARP							
VLAN	MACアドレス	状態	操作				
20	00:0a:e4:98:ef:f4	認証済	初期化	ポート初期化			

- 2. 以下のどちらかの手順で設定します。
 - MACアドレスごとに[初期化]ボタンをクリックします。
 該当する MAC アドレスのみ初期状態になります。
 - ポートごとに [ポート初期化] ボタンをクリックします。
 該当するポートのすべてのMACアドレスが初期状態になります。

2.1.9 MAC アドレスの収集を行う

適用機種 全機種

MACアドレスの収集を行ったり、収集したMACアドレスをAAA情報に登録することができます。 ここでは、MACアドレスを収集して、それをAAA情報に登録する方法について説明します。

1. 操作メニューで「MACアドレス収集」をクリックします。

「MACアドレス収集」ページが表示されます。

【MACアドレス収集】 MACアドレスの収集を開始、または収集したMACアドレスをAAA情報に登録することができます。
■MACアドレス収集開始 ※MACアドレス一覧と異なるグルーブIDで収集を開始すると、収集したMAC アドレスはクリアされます。 グループID
■収集したMACアドレス一覧 収集MACアドレスはありません。

- **2.** 「MAC アドレス収集開始」のグループ ID を指定して、[収集開始] ボタンをクリックします。 MAC アドレス収集機能が動作を開始します。
- **3.** 「MACアドレス収集停止」の [収集停止] ボタンをクリックします。 MACアドレス収集機能が停止します。
- 4. 「収集したMACアドレス一覧」から登録するMACアドレスのリスト番号とパスワードを指定します。



5. [登録] ボタンをクリックします。

2.1.10 無線 LAN アクセスポイントに MAC アドレスフィルタを 配布する

適用機種 全機種

設定済みのMACアドレスフィルタをフィルタセット単位で管理対象となった無線LANアクセスポイントに配布することができます。

こんた事に気をつける	
管理対象機器は、	弊社製の無線LANアクセスポイント(SR-M20AP1)のみとなります。

1. 操作メニューで「無線 LAN 管理操作」の「MAC アドレスフィルタ配布」をクリックします。 「MAC アドレスフィルタ配布」ページが表示されます。

【MACアドレスフィルタ配布】 このページでは、設定済みのMACアドレスフィルタをフィルタセット単位で、管理対象となった無線LANアクセスポイント に配布することができます。 《配布したいMACアドレスフィルタセットを選択して、MACアドレスフィルタ配布をクリックしてください。》						
■管理	機器一覧					
グルーフ	1	管理機器	5		MACZKLZZZLタセッ	
定義番 号	グループ 名	定義番 号	管理機器 名	タイ ブ	NAC / 1 / 2 / 1 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2	
		0	AP_A01	wlan	~	
0 GroupA 1 AP_A02 wan						
MACアドレスフィルタ配布						

2. MACアドレスフィルタを配布する管理機器に、MACアドレスフィルタセット名を指定します。

・MACアドレスフィルタを配布しない管理機器のMACアドレスフィルタセット名は、空欄のままとしてください。
 ・管理機器のMACアドレスフィルタをクリアしたい場合は、MACアドレスフィルタが設定されていないMACアドレスフィルタセットを選択して、配布してください。

3. [MACアドレスフィルタ配布] ボタンをクリックします。

MACアドレスフィルタ配布の実行結果が表示され、管理対象となった無線LANアクセスポイントにMACアドレスフィルタの配布が行われます。

無線 LAN アクセスポイントの無線 LAN チャネルを調整する 2.1.11

適用機種 全機種

管理対象となった無線 LAN アクセスポイントの無線 LAN チャネルを自動的に調整することができます。

こんな事に気をつけて

管理対象機器は、弊社製の無線LANアクセスポイント(SR-M20AP1)のみとなります。

1. 操作メニューで「無線 LAN 管理操作」の「無線 LAN チャネルの自動調整」をクリックします。 「無線 LAN チャネルの自動調整」ページが表示されます。

【無線L	【無線LANチャネルの自動調整】						
このべー す。	ジでは、管理対	象となった無	縣LANアクセン	スポイント	の無線LAN	チャネルを自動的に調整することができま	
《無線LA クしてくださ	Nチャネルの自 い。》	動調整を実施	施したい管理機	器のチェ	-ックボックス	にチェックをして、チャネル自動調整をクリッ	
■管理機	器一覧						
グループ		管理機器			チャネル		
定義番号	グループ名	定義番号	管理機器名	タイプ	自動調整		
0	GroupA	0	AP_A01	wlan			
U U	1 AP_A02 wlan						
チャネル自動調整							

- 無線LANチャネルの自動調整を実施する管理機器のチェックボックスにチェックします。 2.
- 3. [チャネル自動調整] ボタンをクリックします。

無線 LAN チャネル自動調整の実行結果が表示され、管理対象となった無線 LAN アクセスポイントの無線 LAN チャネルが自動的に調整されます。

こんな事に気をつけて

無線 LAN チャネル自動調整の実施中は、無線の状態が不安定になる可能性があります。よって、メンテナンスなどの通 常運用時以外で無線LAN チャネル自動調整を行うようにしてください。



無線LAN チャネルの自動調整を開始したあとにキャンセルした場合、現在処理中の無線LAN アクセスポイントの無線LAN チャネルの調整が完了するまでバックグラウンドで処理を行います。この間、無線LAN 管理機能のほかの操 作はできません。

2.1.12 無線 LAN アクセスポイントの電波出力を調整する

適用機種 全機種

管理対象となった無線 LAN アクセスポイントの電波出力を自動的に調整することができます。

こんな事に気をつけて

管理対象機器は、弊社製の無線LANアクセスポイント(SR-M20AP1)のみとなります。

1. 操作メニューで「無線LAN 管理操作」の「無線LAN 電波出力の自動調整」をクリックします。

「無線 LAN 電波出力の自動調整」ページが表示されます。

【無線LAN電波出力の自動調整】 このページでは、管理対象となった無線LANアクセスポイントの電波出力を自動的に調整することができます。 《電波出力の自動調整を実施したい管理機器のチェックボックスにチェックをして、電波出力自動調整をクリックしてく ださい。》						
■管理機器	器一覧	65-m1460.0				1
クループ		管理機器			電波出力	
定義番号	グループ名	定義番号	管理機器名	タイプ	自動調整	
0	GroupA	0	AP_A01	wlan		
	1 AP_A02 wlan					
電波出力自動調整						

電波出力の自動調整を実施する管理機器のチェックボックスにチェックします。 2.

3. [電波出力自動調整] ボタンをクリックします。

電波出力自動調整の実行結果が表示され、管理対象となった無線 LAN アクセスポイントの電波出力が自動的に調 整されます。

こんな事に気をつけて

電波出力自動調整の実施中は、無線の状態が不安定になる可能性があります。よって、メンテナンスなどの通常運用時 以外で電波出力自動調整を行うようにしてください。



•1管理機器の電波出力を自動調整するには、かなりの時間が必要となりますので、電波出力の調整が必要な管理機器

Mail Note: The State of th 以外は設定しないようにしてください。

・電波出力の自動調整を開始したあとにキャンセルした場合、現在処理中の無線LANアクセスポイントの電波出力の 調整が完了するまでバックグラウンドで処理を行います。この間、無線 LAN 管理機能のほかの操作はできません。

2.1.13 無線 LAN アクセスポイントの装置リセットを行う

適用機種 全機種

管理対象となった無線LANアクセスポイントの装置リセットを行うことができます。

こんな事に気をつけて

管理対象機器は、弊社製の無線LANアクセスポイント(SR-M20AP1)のみとなります。

1. 操作メニューで「無線LAN管理操作」の「管理機器の装置リセット」をクリックします。

「管理機器の装置リセット」ページが表示されます。

【管理機器の装置リセット】 このページでは、管理対象となった無線LANアクセスポイントの装置リセットを行うことができます。 《装置リセットしたい管理機器を選択して、装置リセットをクリックしてください。》							
■管理機	■管理機器一覧						
定義番号	グループ名	官理械器	管理機器名	タイプ	装置リセット		
0	- ·	0	AP_A01	wlan			
Ŭ	1 AP_A02 wlan						

- 2. 装置リセットする管理機器のチェックボックスにチェックします。
- 3. [装置リセット] ボタンをクリックします。

管理対象となった無線 LAN アクセスポイントの装置リセットが実行されます。

2.2 表示メニューを使う

表示メニューでは、ポートや機能の使用状況、現在時刻および経過時間情報などについて確認することができます。

こんな事に気をつけて

一般ユーザ(user)でログインしている場合は、「統計情報」をクリアすることができません。クリアする場合は、管理者(admin)に移行してください。

● 参照「1.3 本装置にログインする」(P.11)

2.2.1 表示メニューを表示する

適用機種 全機種

本装置のトップページで、画面左側の〔表示〕タブをクリックすると、表示メニューが表示されます。

🗿 SR-S724TC1 Setup Config	urations – Microsoft Internet Explorer	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お	気に入り(金) ツール(1) ヘルプ(日)	*
🔾 戻る • 🕥 - 💌 🛃 🤅	🏠 🔎 ଝ଼ቋ 🧙 አኧርጊባ 🤣 🎯 🌭 📓 🖳 🦓	
アドレス(D) 🕘 http://192.168.1.1/		🔽 🔁 移動 リンク 🎽
Secure Switch SR-5724 TC1 (V13.00 config1) ユーザ名: admin	表示メニュー このページでは、本装置の運用状況を表示することができます。 《左のメニューからサービスを選択してください》	
酸定 操作 表示 保守 表示メニュー		
B システム関連 B Ethernet関連 B LAOP関連 D ブリッジ関連 B MAC関連 B VLAN関連 LAN関連		
B QoSI制建 B LLDP関連 B 認証関連 B IEEE8021X関連 B Web認証関連 B MACアドレス認証関連		
 ■ <u>ARP認証関連</u> ■ <u>DHCPスヌーブ関連</u> ■ <u>IGMPスヌーブ関連</u> ■ <u>ルーブ検出関連</u> ■ <u>ルーブ検出関連</u> ■ <u>イノタフェース関連</u> ■ ページが表示されました 		■ イントラネット

各表示内容については、「コマンドリファレンス - 運用管理編-」に記載されています。併せてご覧ください。

以下に、表示される各種情報および状態と表示するコマンドを示します。

機能分類	表示内容	コマンド
システム関連	静的システム情報	show system information
	動的システム情報	show system status
	エラーログ情報	show logging error
	システムログ情報	show logging syslog
	現在時刻情報	show date

機能分類	表示内容	コマンド
Ethernet 関連	物理ポート情報	show ether
	物理ポート情報(簡易)	show ether brief
	物理ポート統計情報	show ether statistics
	物理ポートメディア情報	show ether media-info
	物理ポート使用率情報	show ether utilization
	物理ポート Queue 情報	show ether queue
LACP関連	LACP 情報	show lacp
	LACP 統計情報	show lacp statistics
ブリッジ関連	学習テーブルの内容	show bridge
	スパニングツリー状態情報	show spanning-tree
	スパニングツリー統計情報	show spanning-tree detail
	スパニングツリーインスタンス状態情報	show spanning-tree instance
	スパニングツリーインスタンス統計情報	show spanning-tree instance detail
MAC関連	接続端末数制限情報	show mac detection
VLAN関連	VLAN 情報	show vlan
	VLAN 情報(簡易)	show vlan brief
QoS関連	COSキュー情報	show qos cosmap
LLDP関連	設定情報	show lldp
	自装置情報	show lldp summary
	隣接情報	show lldp neighbors detail
	統計情報	show lldp statistics detail
認証関連	認証成功端末情報	show auth port
IEEE802.1X 関連	オーセンティケータ認証情報	show dot1x authenticator port
	オーセンティケータ認証統計情報	show dot1x authenticator statistics
Web認証関連	認証状態	show webauth port
	統計情報	show webauth statistics
MAC アドレス認証関連	認証状態	show macauth port
	統計情報	show macauth statistics
ARP認証関連	認証状態	show arpauth vlan
	統計情報	show arpauth statistics
DHCP スヌープ関連	エントリ情報	show dhcpsnoop
	統計情報	show dhcpsnoop statistics
IGMPスヌープ関連	マルチキャストルータポート情報	show igmpsnoop mrouter
	リスナー情報	show igmpsnoop reporter
	IGMPスヌープ統計情報	show igmpsnoop statistics
	エントリ消費情報	show igmpsnoop brief
ループ検出関連	ループ検出状態	show loopdetect
POE関連	装置情報	show poe information
	測定值	show poe measurements
	ポート状態	show poe status
	受電情報	show poe drawing
インタフェース関連	インタフェース情報	show interface
	インタフェース統計情報	show interface statistics
ARP関連	ARP エントリ情報	show arp

機能分類	表示内容	コマンド
Neighbor Cache 関連	テーブルエントリ情報	show ndp
ルーティングテーブル関連	IP カーネル情報	show ip route kernel
	IPv6 カーネル情報	show ipv6 route kernel
パケット関連	統計情報	show ip traffic
	IPv6統計情報	show ipv6 traffic
マルチキャスト関連	グループ情報	show ip multicast group
	インタフェース情報	show ip multicast interface
	インタフェース統計情報	show ip multicast interface statistics
	PIM-SM ランデブーポイント情報	show ip multicast pimsm rp
	プロトコル情報	show ip multicast protocol
	ルーティングテーブル情報	show ip multicast route
	カーネルルーティングテーブル情報	show ip multicast route kernel
	カーネル統計情報	show ip multicast statistics
	カーネルルーティングテーブル統計情報	show ip multicast route kernel statistics
DHCP関連	IPv4 運用情報	show ip dhcp
	IPv6 運用情報	show ipv6 dhcp
VRRP関連	VRRP情報	show vrrp
SNMP関連	状態と統計情報	show snmp statistics
IEEE802.1ad 関連	IEEE802.1ad 情報	show dot1ad
	IEEE802.1ad情報(簡易)	show dot1ad brief
	マッピングエントリ情報	show dot1ad summary
	マッピングルール情報	show dot1ad vlan-map
IEEE802.1ah関連	インタフェース情報	show dot1ah interface
	インタフェース情報(簡易)	show dot1ah interface brief
	インタフェースエントリ情報	show dot1ah interface summary
	バックボーンサービス情報	show dot1ah service
	学習テーブルの内容	show dot1ah bridge
NETTIME関連	状態と統計情報	show nettime statistics
ProxyDNS関連	状態と統計情報	show proxydns statistics
SSH関連	DSA公開鍵情報	show ssh server key dsa
	RSA公開鍵情報	show ssh server key rsa
AAA関連	RADIUSサーバ情報	show aaa radius client server-info
トレース関連	SSH トレース情報	show trace ssh
ether L3監視関連	ether L3 監視情報	show icmpwatch
	ether L3 監視統計情報	show icmpwatch statistics

機能分類	表示内容	コマンド
無線 LAN 管理関連	管理機器の一覧表示	show nodemanager node brief
	管理機器の詳細情報表示	show nodemanager node
	管理無線 LAN アクセスポイントの監視状況の 一覧表示	show nodemanager logging wlan scan managed brief
	管理無線 LAN アクセスポイントの監視状況の 表示	show nodemanager logging wlan scan managed
	管理外無線 LAN アクセスポイントの監視状況 の表示	show nodemanager logging wlan scan unmanaged
	不明無線 LAN アクセスポイントの監視状況の 表示	show nodemanager logging wlan scan unknown
	無線 LAN 端末の RSSI 最大値 / 最小値の一覧表示	show nodemanager logging wlan sta rssi
	無線 LAN インタフェースの無線 LAN 端末情報 の表示	show nodemanager logging wlan sta
	無線 LAN 通信のトレース情報の表示	show nodemanager logging wlan trace
	接続拒否の無線 LAN 端末情報の表示	show nodemanager logging wlan reject

2.3 保守メニューを使う

保守メニューでは、構成定義情報の退避/復元、構成定義情報の切り替え、ファームウェア更新、外部メディア の操作などができます。

こんな事に気をつけて

ー般ユーザ(user)でログインしている場合は、「保守メニュー」が表示されません。「保守メニュー」を使用する場合は、管理者(admin)に移行してください。

● 参照「1.3 本装置にログインする」(P.11)

2.3.1 保守メニューを表示する

適用機種 全機種

本装置のトップページで、画面左側の[保守]タブをクリックすると、保守メニューが表示されます。



コンパクトフラッシュは、SR-S224CP1/248TC1/308TL1/310TL2/316TL1/318TL2/324TL2/328TR1/348TC1/ 748TC1以外で表示されます。

USBメモリは、SR-S224CP1/248TC1/308TL1/310TL2/316TL1/318TL2/324TL2/328TR1/348TC1/748TC1で表示 されます。

2.3.2 構成定義情報を退避/復元する

適用機種 全機種

現在の本装置の構成定義情報をファイルに保存し、退避しておきます。必要になったときに保存しておいた構成 定義情報を復元できます。

● 退避できる構成定義情報

- 編集中の構成定義 :本装置で設定を変更している構成定義情報
- 運用中の構成定義 :現在、本装置で運用中の構成定義情報

1. 保守メニューで「構成定義情報」をクリックします。

「構成定義情報」ページが表示されます。

【構成定義情報】				
このページでは、構成定義情報の退避および復元ができます。				
退避ボタンをクリックすると、構成定義ファイルが開きますので、ブラウザの保存機能により保存してください。				
 退避する構成定義 				
復元ボタンをクリックすると、指定したファイルを使用して構成定義情報を復元します。				
Ian 0 ip address 192.168.1.1/24 3 Ian 0 vlan 1 syslog facility 23 time zone 0900 consoleinfo autologout 8h telnetinfo autologout 5m dumpswitch disable terminal pager enable terminal charset SJIS alias history "show logging command brief"				

- 2. 以下の手順で退避/復元します。
 - 退避する場合
 退避する構成定義を選択し、[退避]ボタンをクリックします。
 構成定義ファイルが開きます。WWWブラウザの保存機能によって保存します。
 - 復元する場合
 復元する構成定義ファイルを指定し、[復元] ボタンをクリックします。
 - こんな事に気をつけて 現在の本装置のIPアドレスと保存時のIPアドレスが異なると復元できません。

構成定義情報を切り替える 2.3.3

適用機種 全機種

本装置は構成定義情報を内部に2つ持つことができます。「スケジュール機能」または手動で切り替えることがで きます。

1. 保守メニューで「構成定義情報切り替え」をクリックします。

「構成定義情報切り替え」ページが表示されます。

|| 補足| ページが表示されたときに、選択されている方が現在の構成定義情報です。

【構成定義情報切り替え】		
このページでは、構成定義情報の切り替えを行うことができます。 構成定義情報1または構成定義情報2を選択し、再起動ボタンをクリックしてください。		
 ○ 構成定義情報1 ○ 構成定義情報2 		
再起動		

2. 再立ち上げ時に使用する構成定義情報を選択し、[再起動] ボタンをクリックします。

再起動が行われ、選択した構成定義情報での立ち上げが行われます。

こんな事に気をつけて

- 電源投入時は、直前に動作していた側の構成定義情報で立ち上がります。
- ・ データ通信中に再起動すると、通信が切断されます。
- ・ 本装置の IP アドレスが変更となった場合、再起動後に本装置にアクセスするためには、パソコンの再起動および URLを変更する必要があります。

2.3.4 コンパクトフラッシュを使う

適用機種 SR-S208TC2, 224TC2, 208PD1, 224PS1, 316C2, 324TC1, 716C2, 724TC1

コンパクトフラッシュを使用して、構成定義情報の退避/復元、ファームウェアの更新などを行うことができます。

構成定義情報の退避/復元

本装置の構成定義情報をコンパクトフラッシュに保存し、退避しておきます。必要になったときにコンパクトフ ラッシュに保存しておいた構成定義情報を復元できます。

- 退避できる構成定義情報
- 編集中の構成定義 :本装置で設定を変更している構成定義情報
- 運用中の構成定義 :現在、本装置で運用中の構成定義情報
- 構成定義情報1 :本装置に保存されている構成定義情報1
- 構成定義情報2 : 本装置に保存されている構成定義情報2

ここでは、構成定義情報1を退避/復元する方法について説明します。

1. 保守メニューで「コンパクトフラッシュ」の「構成定義情報」をクリックします。 「構成定義情報」ページが表示されます。

【構成定義情報】
このページでは、コンハクトフラッシュへの構成定義情報の退避およひコンハクトフラッシュからの復元かできます。
退避ボタンをクリックすると、構成定義情報をコンパクトフラッシュのルートフォルダに指定したファイル名で退 選びます。
退避する構成定義
 編集中の構成定義
〇世田中の神政に手致
○ 構成定義情報1
○ 作用从人上手续 月中夜之
周遊先ファイルター
────────────────────────────────────
└────────────────────────────────────
有二二 7 - / 1 4
後元九ノバール石
復元する構成定義
●
○ 構成定義情報2

- 2. 以下の手順で退避/復元します。
 - 退避する場合
 - (1) 退避する構成定義から「構成定義情報1」を選択します。
 - (2) **退避先ファイル名(例: config_save)を指定して[退避] ボタンをクリックします**。 構成定義情報がコンパクトフラッシュに退避されます。
 - 復元する場合
 - (1) 復元する構成定義から「構成定義情報1」を選択します。
 - (2) 復元元ファイル名(例: config_save)を指定して[復元] ボタンをクリックします。 コンパクトフラッシュに保存しておいた構成定義情報が復元されます。

ファームウェアの更新

ここでは、コンパクトフラッシュを使用したファームウェアの更新方法について説明します。

1. 保守メニューで「コンパクトフラッシュ」の「ファームウェア更新」をクリックします。 「ファームウェア更新」ページが表示されます。

【ファームウェア更新】 このページでは、コンパクトフラッシュからファームウェアの更新ができます。
ファイル名を指定して更新ボタンをクリックすると、ファームウェアをコンバクトフラッシュのルートフォルダにある指定した ファイルで更新します。
<mark>ファームウェアファイル名</mark>
更新

2. ファームウェアファイル名を指定して [更新] ボタンをクリックします。

ファームウェアが更新されます。

フォーマット

ここでは、コンパクトフラッシュのフォーマット方法について説明します。

1. 保守メニューで「コンパクトフラッシュ」の「フォーマット」をクリックします。 「フォーマット」ページが表示されます。

【フォーマット】 このページでは、コンバクトフラッシュのフォーマットができます。 フォーマットボタンをクリックすると、コンバクトフラッシュのフォーマットを実行します。 フォーマット

2. [フォーマット] ボタンをクリックします。 コンパクトフラッシュがフォーマットされます。

ファイル一覧の表示

ここでは、コンパクトフラッシュのファイル一覧を表示する方法について説明します。

1. 保守メニューで「コンパクトフラッシュ」の「ファイル一覧の表示」をクリックします。 「ファイル一覧の表示」ページが表示されます。

/cf0 7:38		2453	config
7:38		2453	config
		2400	VVIII I A
7:38		2453	config1
7:38		387	config2
7:39		2784208	firmware
7:40		1760955	tech-support
	total	file	5
	total	directory	0
	7:38 7:39 7:40	7:38 7:39 7:40 total total	7:38 387 7:39 2784208 7:40 1760955 total file total directory

2.3.5 USBメモリを使う



<u>機種</u>] SR-S224CP1, 248TC1, 308TL1, 310TL2, 316TL1, 318TL2, 324TL2, 328TR1, 348TC1, 748TC1

USBメモリを使用して、構成定義情報の退避/復元、ファームウェアの更新などを行うことができます。

● 参照 機能説明書「2.44 USB メモリ機能」(P.139)

構成定義情報の退避/復元

本装置の構成定義情報をUSBメモリに保存し、退避しておきます。必要になったときにUSBメモリに保存しておいた構成定義情報を復元できます。

- 退避できる構成定義情報
- 編集中の構成定義 :本装置で設定を変更している構成定義情報
- 運用中の構成定義
- :現在、本装置で運用中の構成定義情報
- 構成定義情報1 :本装置に保存されている構成定義情報1
- 構成定義情報2 : 本装置に保存されている構成定義情報2

ここでは、構成定義情報1を退避/復元する方法について説明します。

1. 保守メニューで「USBメモリ」の「構成定義情報」をクリックします。 「構成定義情報」ページが表示されます。

【構成定義情報】
このページでは、USBメモリへの構成定義情報の退避およびUSBメモリからの復元ができます。
<u>退避</u> 退避ボタンをクリックすると、指定したファイルに構成定義情報を退避します。
退避する構成定義
◎編集中の構成定義
◎ 運用中の構成定義
○ 構成定義情報2
退避先ファイル名
1度元 1支元ハメンをンリックタると、1日止してノアイルルの特別以上我に目前で1支元しより。
復元元ファイル名
復元する構成定義
◎ 構成定義情報1
○構成定義情報2

- 2. 以下の手順で退避/復元します。
 - 退避する場合
 - (1) 退避する構成定義から「構成定義情報1」を選択します。
 - (2) **退避先ファイル名(例: config_save)を指定して[退避] ボタンをクリックします**。 構成定義情報が USB メモリに退避されます。
 - 復元する場合
 - (1) 復元する構成定義から「構成定義情報1」を選択します。
 - (2) 復元元ファイル名(例: config_save)を指定して[復元] ボタンをクリックします。 USBメモリに保存しておいた構成定義情報が復元されます。

ファームウェアの更新

ここでは、USBメモリを使用したファームウェアの更新方法について説明します。

1. 保守メニューで「USBメモリ」の「ファームウェア更新」をクリックします。 「ファームウェア更新」ページが表示されます。

【ファームウェア更新】 このページでは、USBメモリからファームウェアの更新ができます。		
ファイル名を指定して更新ボタンをクリックすると、USBメモリからファームウェアの更新を実行します。		
ファームウェアファイル名 更新		

ファームウェアファイル名を指定して[更新]ボタンをクリックします。
 ファームウェアが更新されます。

フォーマット

ここでは、USBメモリのフォーマット方法について説明します。

1. 保守メニューで「USBメモリ」の「フォーマット」をクリックします。 「フォーマット」ページが表示されます。



[フォーマット] ボタンをクリックします。
 USB メモリがフォーマットされます。

ファイル一覧の表示

ここでは、USBメモリのファイル一覧を表示する方法について説明します。

1. 保守メニューで「USBメモリ」の「ファイル一覧の表示」をクリックします。

「ファイル一覧」ページが表示されます。

【ファイルー	·覧】		
Directory o	f /um0		
	. ,		
2008/01/11	13:24	6044	file1
2008/01/11	13:24	6044	file2
2007/12/18	18:51	5331634	firmware
2008/01/11	13:25	6044	sys-file1
2007/12/18	18:49	273869	tech-support
2008/01/11	13.25	6038	umf0
2008/01/11	13:25	775	umf1
2000/01/11	10120		Giller
		total file	7
		total directory	0
		-	

ポート閉塞/閉塞解除

ここでは、USBメモリの安全な取り外し/取り付けを行うために、ポート閉塞およびポート閉塞解除をする方法 について説明します。

1. 保守メニューで「USBメモリ」の「ポート閉塞/閉塞解除」をクリックします。

「ポート閉塞/閉塞解除」ページが表示されます。

【ポート閉塞	/閉塞解除	≹]	
このページでは、 す。	USBメモリを安全	に取り外し/取り付けをするために、U	SBのボートを閉塞または閉塞解除を行いま
ボート	状態	操作	
USB	閉塞	閉塞解除	

2. 以下のどちらかの手順で設定します。

- USB ポートを閉塞する場合 操作の[閉塞]ボタンをクリックします。
- USB ポートを閉塞解除する場合 操作の[閉塞解除]ボタンをクリックします。

こんな事に気をつけて

- USB ポート閉塞実行後に USB メモリを取り外す場合は、保守メニューの「USB メモリ」-「ポート閉塞/閉塞解除」 をクリックし、状態が「閉塞」となっていることを確認してから取り外してください。
- USB ポート閉塞解除実行後は、状態が「閉塞解除」になるまでは USB メモリを使用することができません。保守メニューの「USB メモリ」-「ポート閉塞/閉塞解除」をクリックし、状態を確認してください。

USBマスストレージ情報の表示

ここでは、USBメモリのマスストレージ情報を表示する方法について説明します。

1. 保守メニューで「USBメモリ」の「USBマスストレージ情報表示」をクリックします。

「USBマスストレージ情報表示」ページが表示されます。

【USBマスストレージ	「情報表示】
[Thread] Status	: Active
[Device #1] Status Speed Geometry probing Test unit ready Inquiry Mode sense Read capacity Read format capacities Hold data [Storage specs] Vendor Product Rev. Total contro	: Idle : High : Success (partly guessed) : Success : Failed (no data) : Success : : Not exist : BUFFALO : USB Flash Disk : 4000 : 50000
Cylinders Heads Sectors per track	: 300000 : 247 : 64 : 32
[USB specs] Speed Max LUN [USP configuration]	: High : O
Loso con (guration) Device address Interface Sub class LUN BulkInEP BulkOutEP	: 1 : 0 : 6 : 0 : 0×81 : 0×02

索引

Α I IEEE802.1X 認証の再認証/初期化28 Μ MAC アドレスの収集31 MAC アドレスフィルタ配布32 Microsoft® Internet Explorer8 Ρ ping コマンド25 S SNTP サーバ18 Т U V W WWW ブラウザ8 あ 暗号化パスワード14 い 一般ユーザクラス12 か 管理者クラス12

け	
権限クラス1 テ	2
ム 構成定義情報切り替え	2
構成定我情報の返避/復九4 コンパクトフラッシュ4 し	.3
時刻の設定1 せ	8
接続構成2 設定メニュー1 そ	20 0
操作メニュー10, 2 装置リセット3 て	:3 :5
電波出力の自動調整 3 と	34
トップページ	9
入力文字一覧2 ね	!1
ネットワーク接続の確認2 は	!5
パスワード1 パスワード情報の設定1 ひ	1 3
表示メニュー10, 3 ふ	6
プリエンプトモード2	26

$\boldsymbol{\wedge}$

閉塞/閉塞解除	24
ほ	
保守メニュー	10, 40
ま	
マニュアル構成	6
む	
無線 LAN チャネルの自動調整	33
ø	
ユーザ名	11
3	
ログイン	11
ログインパスワード情報	13

ログインユーザ情報15

SR-S シリーズ セキュアスイッチ Web ユーザーズガイド

P3NK-3842-06Z0

発行日	2013年1月
発行責任	富士通株式会社

•本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。

本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。

 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、 損害については、弊社はその責を負いません。